

Koyo

ジェイテクトは、わたしたちの足下、
地中深くで回りはじめる。

現代につながる軸受の構造を世界で初めて考えたのは、レオナルド・ダ・ヴィンチだと言われている。

約500年以上も前の話だ。以降、軸受は「モノの動き」の必需品として、進化を重ねてきた。

その技術の粋をあつめた最先端の軸受が、わたしたちの足下、地中深くで回りはじめる。

東京外かく環状道路の完成に向け、地下深くを掘り進むためのマシン、「トンネル用シールド掘進機」がある。

地中深くで回転する直径16.1mにおよぶカッターヘッド。その軸受は、日系メーカーではジェイテクトにしか

つukれない大形旋回座軸受だ。*道路が狭い日本の交通事情でも自由な運搬を可能にするため、

直径7.7mの大形旋回座を4分割して輸送し、現場で再度組み上げる。その際、真円を再現できる設計力と、
その巨体に比して、およそ0.1mmという驚異的に小さい回転振れに抑える加工技術をジェイテクトは持っている。

それは、25年以上前から、大形軸受の分解輸送に挑戦し、

経験を積み上げてきた歴史があるジェイテクトだからできる世界有数の技術だ。

この国で生活する人々のよりよい未来へ向けて、ジェイテクトの大形旋回座軸受は回りはじめる。

※2017年8月現在・当社調べ

歴史ある若い会社、ジェイテクト。

No.1 & Only One

JTEKT

自動車部品・ベアリング・工作機械の、ジェイテクト。